

航空事故調査報告書

運輸安全委員会
平成29年9月

航空事故の概要

○発生日時：平成28年3月17日（木） 12時20分頃

○発生場所：千葉県印旛郡栄町

○航空機型式：PZL-ビエルスコ式SZD-50-3プハッチ型
（滑空機、複座）

○登録記号：JA50KM

○搭乗者

教官（機長、69歳、男性）

総飛行時間：229時間30分（発航回数：626回）

同型式機による飛行時間：36時間34分（発航回数：92回）

訓練生（66歳、男性）

総飛行時間：1時間54分（発航回数：4回）

同型式機による飛行時間：0時間23分（発航回数：1回）



写真1 事故機

- ・ 個人所有 J A 5 0 K M は、自家用操縦士技能証明取得（滑空機）を目的とした操縦練習のため、前席に訓練生、後席に教官（機長）が着座して、茨城県稲敷郡河内町の大利根場外離着陸場を飛行機曳航により、12時05分頃発航
- ・ 同機は、12時20分頃、同場外離着陸場南の千葉県印旛郡栄町の住宅地内の民家に墜落
- ・ 墜落直前に回転を伴い、機首を大きく下げた状態で飛行（目撃者口述）
- ・ 事故当日の飛行内容は不明
- ・ 同機は大破し、教官、訓練生ともに死亡
- ・ 住宅2棟の一部が損壊
- ・ 住民に死傷者はなし

飛行の経過

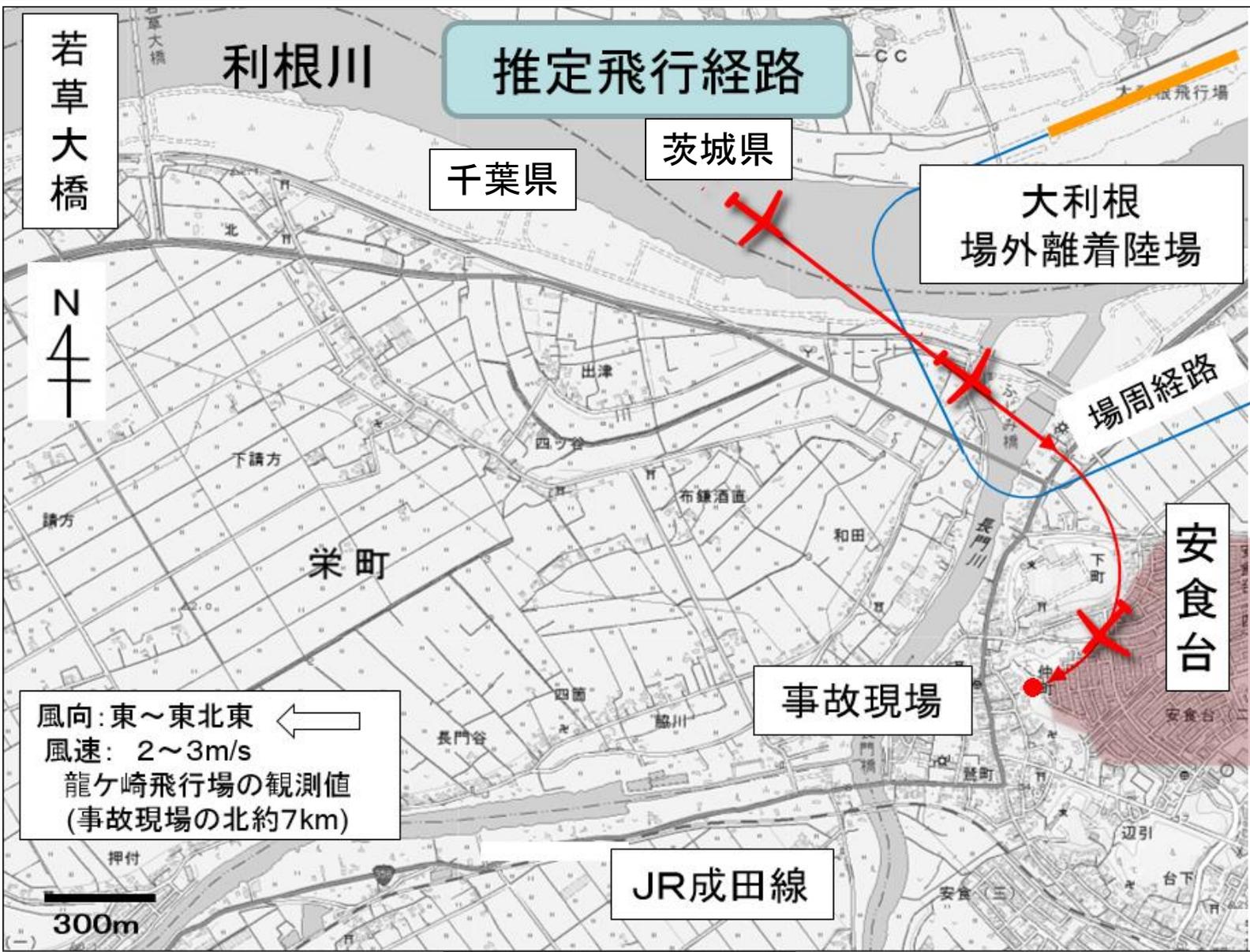
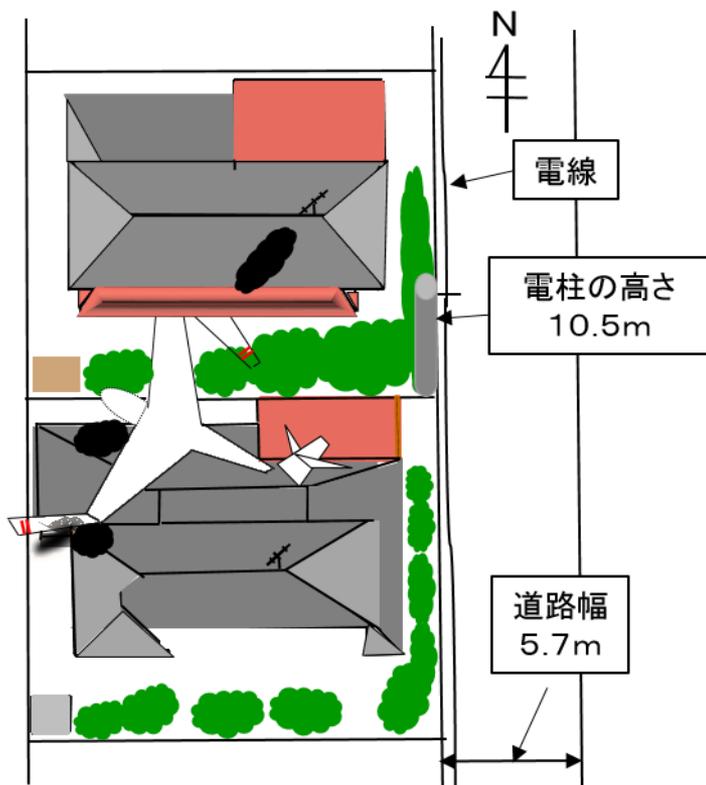


図1 推定飛行経路

事故現場の状況

- ・事故現場 南北に並ぶ2棟の住宅
- ・損壊状況 南側住宅 1階及び2階屋根の一部損壊、1階天窓損壊
北側住宅 2階屋根の一部損壊、2階ベランダ損壊



イ：テレビアンテナ
 ●：住宅の損壊箇所

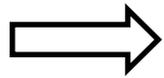
図2 事故現場



写真2 事故現場(西側から撮影)

機体の状況：本事故発生時の飛行は、事故当日、同機が使用された3回目の飛行であり、事故発生時まで機体の異常は報告されていなかった。

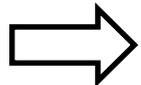
熱上昇気流：事故現場付近は、住宅密集地であり、日射による温度上昇がおきやすい。



局地的な熱上昇気流の可能性

墜落時の状況

- ・南側住宅の損壊箇所：2階北西部分、及び1階北西部分
2階東側のTVアンテナに損傷なし
- ・北側住宅の損壊箇所：2階南側屋根一部損壊、ベランダ損壊
2階東側のTVアンテナに損傷なし
- ・2棟の住宅東側に隣接する電柱及び送電線に損傷なし



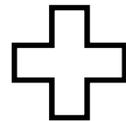
左バンク角(左への傾き角)を取り、機首を大きく下げている。

○ スピン

同機は、回転を伴い、機首をかなり下げた状態で飛行



同機がスピンに入った



スピンから回復できなかった



- ・熱上昇気流の中で旋回中に失速
- ・着陸のために高度を処理するための旋回中に失速

- ・回復操作が適切ではなかった
- ・回復操作が実施されたが、飛行高度に対して高度損失が大きかった

- ・同機がスピンに入り、回復ができなかったため、墜落したものと考えられる。
- ・同機がスピンに入った原因及び回復できなかったことについては、搭乗者が死亡したことから特定できなかった。

- ・飛行クラブ会員に対して、安全講習会及び技量確認（操縦教育を含む）
- ・会員以外の同場外を利用する関係者に対して、同場外の利用に関する講習を実施
- ・動力機（小型飛行機及び動力滑空機）に加えて、滑空機による同場外周辺の住宅密集地上空の飛行を禁止（千葉県印旛郡栄町安食及び茨城県稲敷郡河内町）